

広報

伊万里



平成26年度 予算特集号



伊万里っ子キッズスポーツフェスティバル（3月21日：国見台陸上競技場）

平成 26 年度

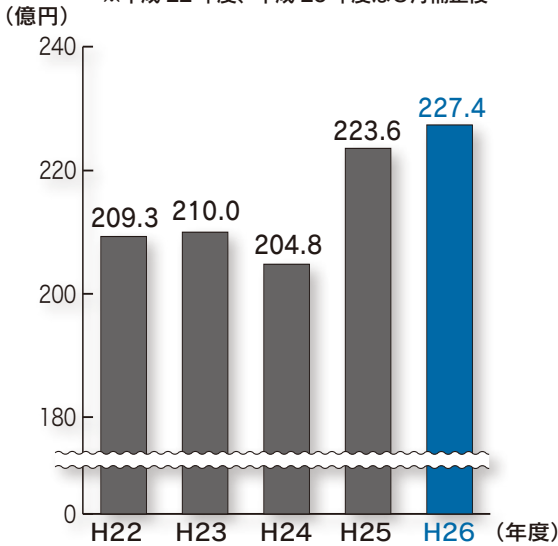
6月補正後予算総額

227億4,229万円

一般会計

一般会計予算額の年度別推移

※平成 22 年度、平成 26 年度は6月補正後

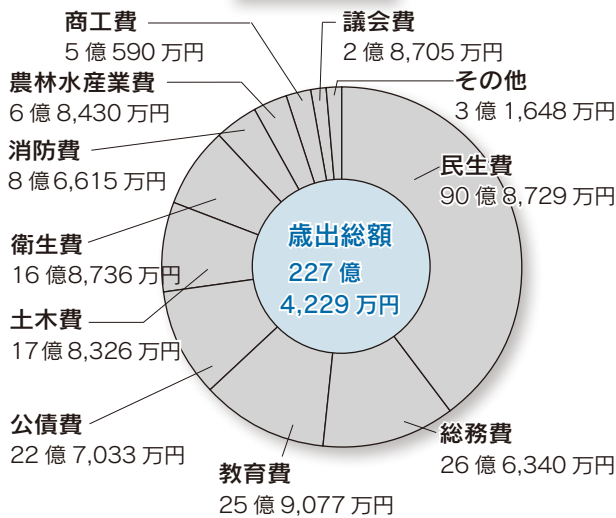


その結果、今年度の6月補正後の伊万里市一般会計予算は、総額で227億4,229万円となっています。平成25年度の同期(6月補正後)と比較すると、1・4割の減少となりました。その概要は、次のとおりです。

平成26年度は、4年に1度の市長改選の年にとり、当初予算は義務的経費や経常的経費などを中心とした骨格予算でした。このため、今回の補正予算で、投資的経費や政策的経費などを追加し、予算の肉付けを行いました。

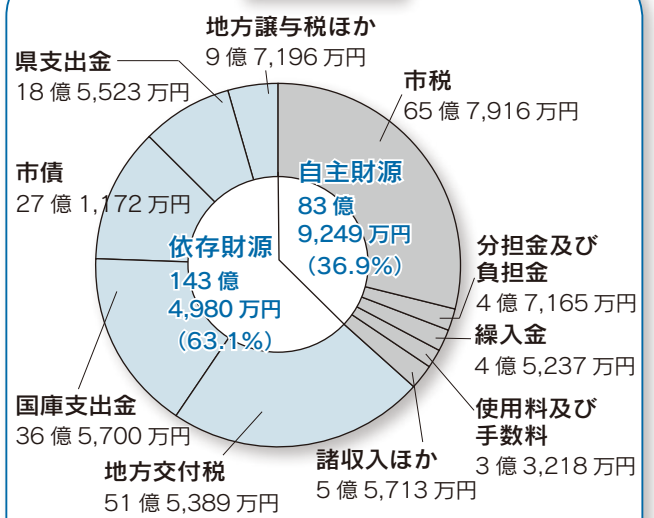
厳しい財政状況の中、県の『核燃料税交付金』を活用した防災事業をはじめとして、事業の重要度や緊急度などを考慮し、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努めながら、厳選した事業を中心に予算編成を行いました。

歳出



- **民生費**………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- **総務費**………企画や男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です。
- **教育費**………小・中学校などの学校教育や社会教育、保健体育など教育全般の経費です。
- **公債費**………借入金の返済に要する経費です。
- **土木費**………道路や河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- **衛生費**………保健衛生や、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- **消防費**………火災など災害に対応するための経費です。
- **農林水産業費**………農林水産業の振興に要する経費です。
- **商工費**………商工業や観光の振興に要する経費です。
- **議会費**………議会運営に要する経費です。
- **その他**………労働費や諸支出金、災害復旧費などです。

歳入



- **市税**………個人と法人の市民税や固定資産税、たばこ税などです。
- **分担金及び負担金**………災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- **繰入金**………基金や特別会計からの繰入金です。
- **使用料及び手数料**………施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです。
- **諸収入ほか**………雑入などです。
- **地方交付税**………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- **国庫支出金**………国からの負担金や補助金です。
- **市債**………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- **県支出金**………県からの負担金や補助金です。
- **地方譲与税**………国税から譲与されるものです。

表 1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	78 億 315 万円
介護保険	57 億 119 万円
立花台地開発事業	1,737 万円
公共下水道事業	20 億 8,034 万円
農業集落排水事業	1 億 5,672 万円
市営駐車場	1,203 万円
後期高齢者医療	13 億 4,616 万円
計	171 億 1,696 万円

表 2 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業
収益的収支	収入	12 億 4,320 万円
	支出	12 億 4,320 万円
資本的収支	収入	6 億 130 万円
	支出	6 億 7,134 万円

表 3 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	206 億 8,532 万円	
特別会計	公共下水道事業	127 億 6,380 万円
	農業集落排水事業	11 億 469 万円
計	345 億 5,381 万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	46 億 5,384 万円
	工業用水道事業	148 億 875 万円
計	194 億 6,259 万円	

※平成 26 年 5 月 31 日現在の金額です。
 ※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。

特別会計

特定の事業を行う際に、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるものとして特別会計を設けています。

■国民健康保険特別会計
 国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療給付などを行うための会計です。



■介護保険特別会計
 介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です。

■立花台地開発事業特別会計
 公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です。

■公共下水道事業特別会計
 快適な生活環境の実現をめざし、下水道の整備や処理場の維持管理を行うための会計です。

■農業集落排水事業特別会計
 農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です。

■市営駐車場特別会計
 中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です。

企業会計

■後期高齢者医療特別会計
 後期高齢者医療制度の適用を受ける75歳以上の高齢者と65歳以上で一定の障害がある人から徴収した保険料を、佐賀県後期高齢者医療広域連合に納付する会計です。

地方公営企業法の適用を受け、特別会計の中でも経営成績を明確にする必要があるため、次の2つの企業会計を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は、表2のとおりです。

市債現在高

■水道事業特別会計
 安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

■工業用水道事業特別会計
 工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

■表3のとおりです。
 建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから資金を借り入れています。市債の現在高は、

平成 26 年第 2 回定例会 所 信 表 明

平成 26 年第 2 回定例会市議会（6 月議会）で、塚部市長が平成 26 年度の市政運営について所信表明を行いました。ここでは、その一部を紹介します。

4 期目に当たっての決意

私は、先の市長選挙において、市民の皆さんのご支持を賜り、無投票当選により 4 期目の市政運営について負託をいただきました。このことは、この上なく光栄に思いますとともに、平成 14 年 4 月の市長就任以来、3 期 12 年間にわたって、市民の皆さんと同じ目線に立ち、情熱をもって市政運営に努めてきた評価と、将来に向けた信頼と期待の表れと受け止め、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。

伊万里市は、昭和 29 年の市制施行から今年で 60 周年を迎えます。西九州北部の中核都市としての機能と、風格を備え着実な発展を遂げてきた今日の伊万里市が、次なるステージへと大きく飛躍するよう、私は、市政運営の原点に立ち返り、『さわやか市政』を推進します。また、『暮らしの安心・安全の確保』、『地域産業の振興』、『賑わいと活力の創出』の 3 つのまちづくりを積極的に展開し、市民福祉のさらなる向上と将来に向けた発展に全力を尽くす決意です。

特に、海外との貿易や産業集積を図るための伊万里湾開発と、西九州自動車道の市内区間の開通を契機とする観光戦略の展開については、本市の成長戦略と位置づけ、私の政治目標である『住みたいまち伊万里・行きたいまち伊万里』の実現に最大限の努力を傾注します。

伊万里市長 塚部 芳 和

市政を取り巻く情勢

我が国の経済情勢は、一昨年 12 月の政権交代以降に取り組まれた、いわゆるアベノミクスによる大胆な金融政策や機動的な財政・経済対策などの効果により回復基調にあり、第 3 の矢とされる民間投資を喚起する成長戦略の展開による今後の成果に大きな期待が寄せられる一方で、TPP 協定交渉が進められる中、コメや牛肉など本市の主要な農産物生産への大きな影響が懸念されるなど、先行きは予断を許さない状況にあります。

また、10 年後には団塊の世代が後期高齢者となり、社会保障費や医療費の急激な増加が見込まれるほか、100 年後には県内人口は現在のわずか 3 分の 1 にまで縮小すると推計されるなど、人口減少と少子高齢化は世界にも例をみない速度で進行しています。

さらに、安全に対する意識転換を余儀なくされた東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の発生から 3 年以上が経過するにもかかわらず、被災地では復興が進まない厳しい実情にあり、本市の全域が玄海原子力発電所から 30 キロ圏の緊急時防護措置準備区域（UPZ）に含まれたことから、市民の皆さんの安全を守るための防災対策事業の実施が喫緊の課題となっています。

自立した自治体経営の確立と
市民が主役の活気に満ちた
地域社会を実現します



強く、元気な伊万里市へ

まちづくりの基本方針

このように、新たな対応を迫られる厳しい状況の中で、地方自治体に求められる役割は、さらに増大し多様化することが予測されます。今後4年間の市政運営は、未来の伊万里市にとって、まさに飛躍のための正念場であるとの思いを強くしているところです。

このため、私は、限られた財源の中で、将来を見据えた堅実な行政運営を市政運営の基本としながら、行政改革へのためまぬ取り組みにより自立性の高い自治体経営の確立に努めるとともに、市民が主役となって活気に満ちた地域社会を形成していくため、大胆な発想の転換とともに、攻めの姿勢とスピード感をもって、『強く、元気な伊万里市づくり』に邁進していく決意です。

主要な施策

マニフェストに掲げた『強く、元気な伊万里市をつくるための5つの施策』については、第5次伊万里市総合計画の後期基本計画に位置づけ、着実に推進していく考えです。

※次ページからは、総合計画の5つのまちづくりの目標に沿って取り組む市政の主な施策と予算について説明します。